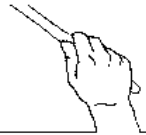




譜面について



音楽の譜面というのは曲を演奏するうえで非常に大切です。いわば曲の設計図になります。
 そんな大切なことを紙にあらわすのですから誰が読んでも同じになるようにルールが決められています。
 それが「音符」「休符」「拍子記号」「反復記号」などになります。
 音符についてはレッスンで練習していくので今回はそれ以外を覚えていきましょう。

■拍子記号

譜面を読むためにとても大事になる「小節」を決めるルールです。

4 / 4 拍子が一般的ですが、これは「4 分音符が4 つで1 小節」という意味になります。



それ以外で、2 / 4 というものもあります。これは「4 分音符が2 つで1 小節」になります。

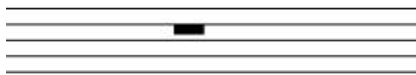


これ以外でも色んな拍子記号があります。「5 / 4 拍子」や「7 / 8 拍子」など。
 基本的には、4 / 4 拍子以外は「変拍子」と言います。

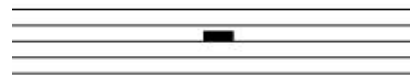
■休符

レッスンで練習する「4 分音符」やその他の音符のほかに長い休符もあります。

・全休符 4 分音符 4 つ分お休みします



・2 分休符 4 分音符 2 つ分お休みします

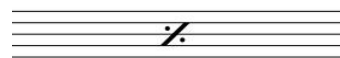


■反復記号（進行記号ということもある）

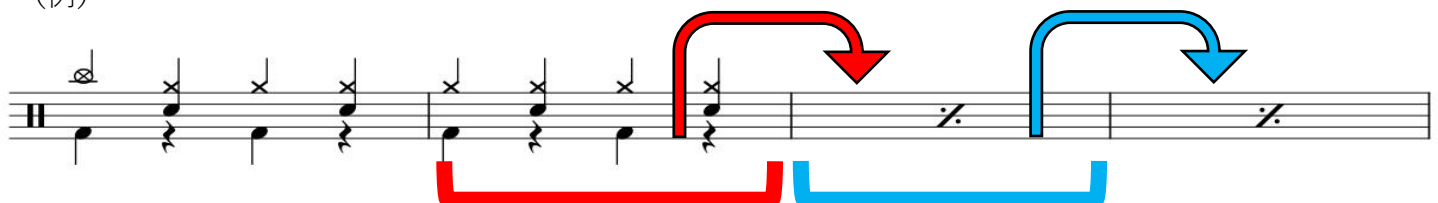
譜面では全て細かく書きすぎると逆に読みにくくなる場合があるので、同じ内容は「繰り返し記号」で省略する場合があります。（書き手の判断による）

・シミレ（simile）

1 つ前の小節の内容を繰り返します。

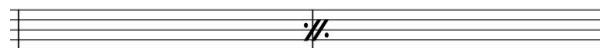


（例）

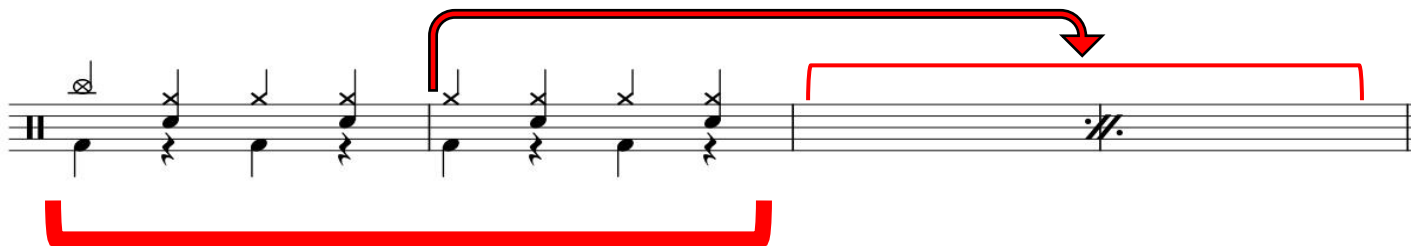


・その他のシミレ

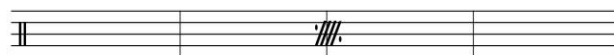
2つ前から1つ前までの2小節分を繰り返します。



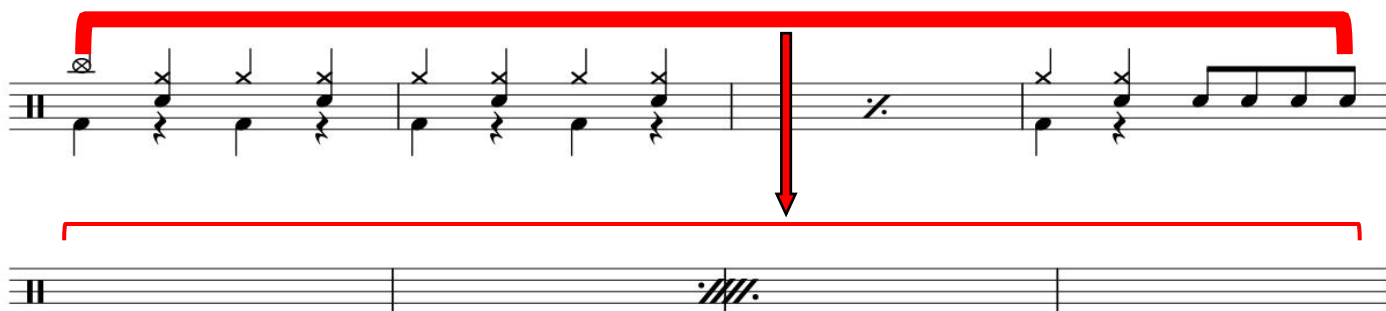
(例)



4つ前から1つ前までの4小節分を繰り返します。



(例)



・リピートマーク

リピートマークの開始線から終了線までを繰り返す



開始線



終了線

(例1)

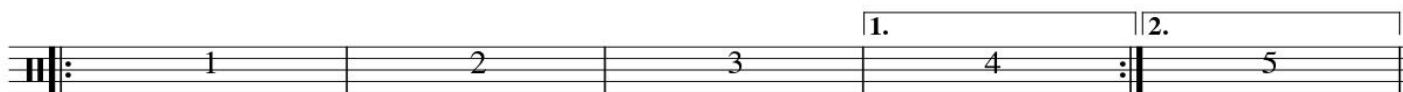


リピートマークは特に指定がない限り「1回だけ繰り返す」というルールなので(例1)の場合

【1→2→3→4→1→2→3→4】の進み方になる

(例2)

「1カッコ」「2カッコ」という記号がある場合

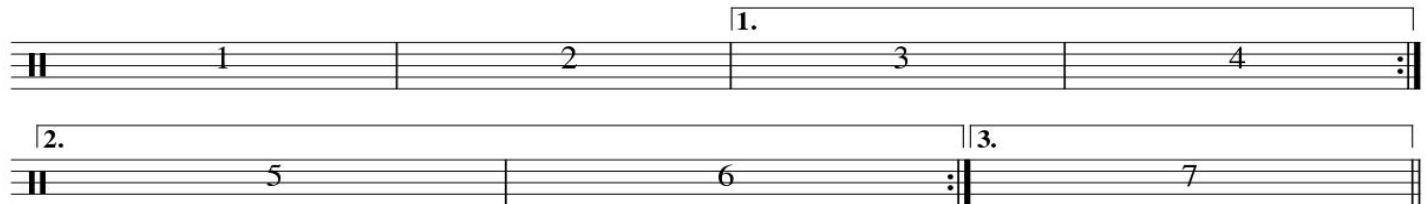


これはリピートマークがある前提で使用される。

「1カッコ」は一回目のみ演奏、「2カッコ」は2回目のみ演奏という指定になる

【1→2→3→4→1→2→3→5】の進み方になる

(例3) リピート回数は「カッコ」がある分だけ繰り返すので、以下の場合もある



これは「3 カッコ」まであるので

【1→2→3→4→1→2→5→6→1→2→7】の進み方になる

■その他の進行記号

リピートマークやシミレ以外に大きい括弧で戻ったり進んだりする記号があります。

◆ダ・カーポ

曲の先頭に戻ります

D.C.

◆ダル・セーニョ

セーニョマークに戻ります

D.S.

⌘

セーニョマーク

◆トゥ・コーダ

コーダマークに飛びます

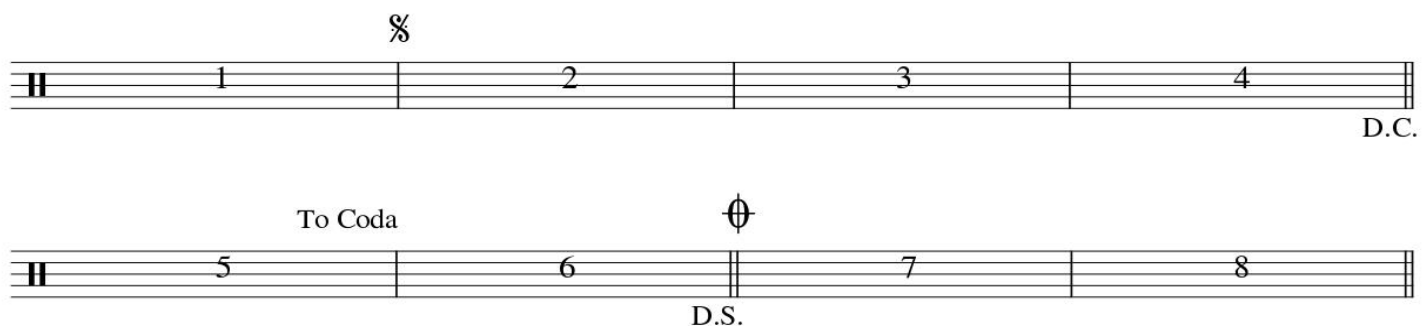
To Coda

⊕

コーダマーク

【注意】 進行記号には優先順位があります

「ダカーポ」が最優先で、その次に「ダルセーニョ」、戻り記号が全て終わって「トゥコーダ」



この譜面の進み方は【1→2→3→4→1→2→3→4→5→6→2→3→4→5→7→8】になります。